



力強く選手宣誓をする沖縄徳洲会野球クラブの嘉納勝選手



全国のシニア選手がプレー

第14回全日本選抜選層軟式野球大会

第14回全日本選抜選層軟式野球大会(全日本選層軟式野球連盟主催)が9月28日から10月2日まで、前沢区の前沢いきいきスポーツランド野球場を主会場に開催されました。

同大会には、北海道から沖縄まで全国から50チーム1,240人が集まり、60歳以上のシニア選手による熱戦が繰り広げられました。試合はトーナメント戦で行われ、初戦で地元の奥州前沢クラブを破った千葉年輪クラブ(千葉県)が優勝しました。

市民に悲願の銀メダル報告

三宅宏実選手オリンピック報告会

ロンドン五輪重量挙げ女子48kg級銀メダリストの三宅宏実選手のオリンピック報告会が9月8日、江刺体育文化会館で行われ、市民ら約200人が参加しました。

22年12月にも競技普及のため同区を訪れていた三宅選手。メダル決定時の映像が流れて拍手が湧き起こると、「皆さんの拍手でやっと実感できた」とほほ笑みました。父の義行コーチとともに、過酷な減量や、年に一週間だけというピークを大会に合わせる難しさを語り、来場者の首にメダルを掛けるなどして交流しました。

父の三宅義行コーチとともに、五輪応援への感謝の言葉を述べる三宅選手



商人の街で迫力のある演舞

第11回奥州YOSAKOI in みずさわ

水沢区の秋を彩る「奥州YOSAKOI in みずさわ」(同実行委員会主催)が9月16日、水沢駅通りなどを会場に開催されました。

強い日差しが照りつける残暑の中、北海道から高知県まで県内外から61チーム、約2,000人の踊り手が集まり競演しました。趣向を凝らした勇壮な演舞は、会場を熱気で包み込み、たくさんの元気と笑顔を届けてくれました。この日は「第53回水沢商人まつり」も開催され、商店街は活気にあふれていました。



子どもたちも元気に踊りました



ガイドの説明に聴き入る参加者

展望室で眺める衣川の歴史

奥州・平泉郷土史無料ガイド

奥州・平泉郷土史の無料ガイドが9月7日、国民宿舎サンホテル衣川荘の展望室で始まりました。

これは、6階の展望室で景色を眺めながら、市世界遺産登録候補地ガイドの会(大内浩生会長)会員から地域の歴史の解説を聞くもので、初日には市内外から12人が参加。前九年合戦での安倍氏や、奥州藤原氏などの説明に聴き入り、古代に思いをはせていました。この無料ガイドは、毎週土・日曜日の午後4時半から5時まで行われ、来年の3月末まで続きます。

勇壮な舞でロンドンを魅了

奥州金津流獅子躍連合会がテムズ・フェスティバルに参加



震災からの復興を願う勇壮な舞が観客を魅了

岩手と宮城の踊り手で構成される奥州金津流獅子躍連合会が9月8日・9日、ロンドンのテムズ川沿いで開催された「テムズ・フェスティバル」で勇壮な舞を披露しました。

同フェスでは、音楽やダンスなどのイベントが2日間に渡って繰り広げられ、毎年80万人以上が集まります。連合会は、(独)国際交流基金に招かれ、東日本大震災被災者の鎮魂と復興への願いを込めて演舞を披露。期間中はロンドン市民が驚くほどの快晴となり、一緒に記念撮影をする人なども多く見られました。このほか、地方都市オックスフォードとメイドストーンの博物館や美術館前でも演舞を披露し、沿道の観客から拍手喝采を受けました。

復興の願いを鋳物のこまに

第33回南部鉄器まつり

第33回南部鉄器まつり(同実行委員会主催)が9月29日・30日、市鋳物技術交流センターで開催されました。

初日は恒例の弁慶鉄下駄飛ばし大会や福餅まき大会などが行われ、2日目には、今回初の試みとなる「巨大鉄コマ回し大会」を開催。宮城県気仙沼市の団体の依頼で作製された直径55㍉、重さ82kgの巨大な鋳物のこまは、大人4人が全力でロープで引くと、みんなの復興への思いを乗せて勢いよく回りました。



全速力で走り、鋳物のこまを回す参加者



狼ヶ志田神楽の力強い「三番舞」の舞

継承へ思い込めて華やかに

狼ヶ志田神楽150周年祭

市無形民俗文化財・狼ヶ志田神楽150周年祭が9月9日、上狼ヶ志田部落公民館を会場に開催されました。

同神楽は1861(文久元)年、山伏神楽から伝授されたことが始まり。現在は保存会の17人が伝統を継承し、さまざまなイベントに出演して活動を続けています。この日は「狼ヶ志田神楽発祥の地」と刻まれた記念碑の除幕式に続き、アトラクションでは、同神楽の華麗な舞を披露。衣川区の大森神楽や川内神楽も出演し、地域の宝である郷土芸能の節目を祝福しました。